

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 5 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【公表番号】 特表 2004-510937(P2004-510937A)
 【公表日】 平成 16 年 4 月 8 日 (2004.4.8)
 【年通号数】 公開・登録公報 2004-014
 【出願番号】 特願 2002-534112(P2002-534112)
 【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 B 19/00
 B 6 0 J 5/00
 B 6 0 R 13/02
 F 1 6 B 2/22
 F 1 6 B 5/06

【F I】

F 1 6 B 19/00 N
 F 1 6 B 19/00 E
 F 1 6 B 19/00 M
 B 6 0 R 13/02 B
 F 1 6 B 2/22 B
 F 1 6 B 5/06 Q
 B 6 0 J 5/00 5 0 1 B

【手続補正書】
 【提出日】 平成 15 年 7 月 17 日 (2003.7.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

支持体 (2) 特に自動車の車体部分と板要素特にドア表張り又は壁表張りとの結合装置であって、

板要素に固定可能な上部部分 (3) と、及び支持体 (2) と結合可能な下部部分 (4) とを備えた結合要素 (1) を有し、この場合、

上部部分 (3) と下部部分 (4) との間に、係止要素 (10) を設け且つ首部形状に形成された中間領域 (5) が設けられ、中間領域 (5) は支持体開口 (7) 内にはめ込み可能な係合部分 (12) を貫通し、

中間領域 (5) が支持体 (2) の上側において中間部分 (15) により包囲され、中間部分 (15) は係止要素 (10) とロック可能であり、

結合要素 (1) の中間領域 (5) が係止要素 (10) の第 1 の領域 (I) 及び第 2 の領域 (I I) を有し、仮組立においては第 1 の領域 (I) が、及び最終組立においては第 2 の領域 I I が、中間部分 (15) の相手係止要素 (22) とロックされ、及び

最終組立 (E) において、結合要素 (1) の端部領域 (4) により、同時に係合部分 (12) の広がり要素 (25) が支持体開口 (7) の領域内で広げられている、前記結合装置において、

中間部分 (15) と係合部分 (12) との間に、支持体 (2) の上側と当接するシール要素 (20) が配置されていることと、

係止要素 (10) の第 1 及び第 2 の領域 (I、I I) がそれぞれ周囲溝 (32、34)

として形成されていることと、

係止要素（１０）の第１及び第２の領域（Ｉ、ＩＩ）が中間首部（２８）により相互に隔てられていることと、及び

結合要素（１）が直径方向に相互に反対側にある少なくとも２つのウェブ（３０）を有し、ウェブ（３０）は最終組立（Ｅ）において中間部分（１５）のスリット（３１）内にはめ込まれていることと、

を特徴とする支持体特に自動車の車体部分と板要素特にドア表張り又は壁表張りとの結合装置。

【請求項２】

中間部分（１５）が、結合要素（１）の中間領域（５）のための貫通開口（３６）の領域内に、相手係止要素（２２）と、及びその間に配置されたスリット（３１）とを備えた中心領域を有し、直径方向に相互に対向している切欠部（３８）を備えた周囲領域を有して、ディスク形状に形成されている（図８ａ－８ｃ）ことを特徴とする請求項１の装置。

【請求項３】

結合要素（１）の下部部分（４）の端部側にキャップ（５０）が固定されていることを特徴とする請求項１の結合要素。

【請求項４】

キャップ（５０）が下部部分（４）のノッチ（５２）内にはめ込まれていることを特徴とする請求項３の装置。

【請求項５】

結合要素（１）の下部部分（４）が、ノッチ（５２）の後側に、仮組立（Ｖ）における係合部分（１２）の広がり要素（２５）のためのはめ込み領域（５５）を有する（図１３）ことを特徴とする請求項４の装置。

【請求項６】

結合要素（１）の下部部分（４）のはめ込み領域（５５）がウェブ（２４）により相互に隔てられていることを特徴とする請求項５の装置。

【請求項７】

結合要素（１）が仮組立（Ｖ）から最終組立（Ｅ）へ移動したときに係合部分（１２）の広がり要素（２５）を広げるために、下部部分（４）のはめ込み領域（５５）に、円錐状に伸長する斜面（５７）が続く（図１７）ことを特徴とする請求項６の装置。

【請求項８】

最終組立（Ｅ）において、広げられた広がり要素（２５）が結合要素（１）の下部部分（４）の平らな面（５９）に当接することを特徴とする請求項７の装置。

【請求項９】

係合部分（１２）が広がり要素（２５）の上側にウェブ（１８）を有し、ウェブ（１８）は中間部分（１５）の切欠部（３８）内にはめ込み可能であることを特徴とする請求項１ないし８の１つ又は複数の装置。

【請求項１０】

中間部分（１５）の切欠部（３８）の間に、仮組立及び最終組立（Ｖ；Ｅ）においてシール要素（２０）の少なくとも１つの舌片（４１）をはめ込むための係合領域（３３）が配置されていることを特徴とする請求項９の装置。

【請求項１１】

シール要素（２０）が係合部分（１２）の広がり要素（２５）のための貫通開口（２１）を有することを特徴とする請求項９及び１０の装置。